

「コロナ感染防止のため、窓を開けて換気をしましょう。」— 保健常任委員が放送で呼びかけます。(6月28日)

ある新聞で小木曾健(たぎぞけん)が紹介されていました。「ネットのトラブル防止のために講演を続けている人」の小見出しに興味を引かれ、眼を通してみました。

小木曾さんは大手ネットゲームメーカーの社員です。社内のトラブル回避の仕事の延長で、「インターネットで絶対失敗しない方法」をテーマに中高や大学で講演を続けています。「わかりやすく記憶に残る」と評判になり講演に忙しい日々を送っているそうです。さっそく YouTube で講演内容を見てみました。

まずショックを受けたのはある人物のネット失敗にまつわる実例です。炎上事件をきっかけに私立高校受験が不合格になり、数年後の就職活動でも内定が取り消されます。挙げ句の果て、婚約破棄まで…。こんなことがあるのです。

小木曾さんは続けます。「ネットは日常とつながっている。日常生活でやっていけないことはネットでもダメ。」「自宅の玄関に貼り出せる内容しか書き込んではいけません。」

ネットは日常の1コマ。架空の世界ではないと警鐘を鳴らしています。

その内容 玄関に貼り出せる？

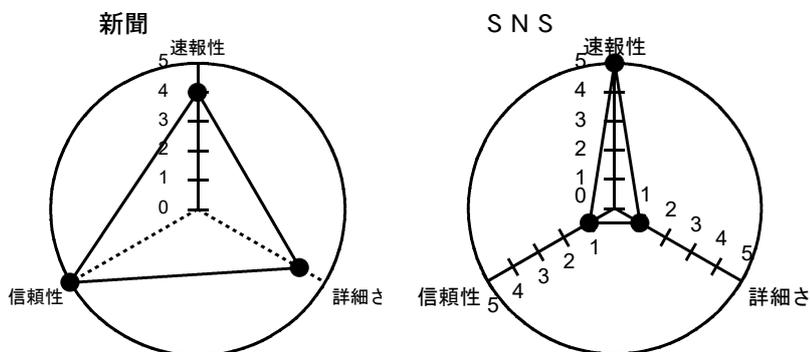
SNSやゲームとの関わり方(3)

—さまざまなメディアの比較—

先日何気なく手にした2年生の国語の教科書。「メディアを比べよう」の内容が示されていました。どんな学習をしているのだろう。生徒がまとめたノートを見てみると、話し合い活動を通して3つの視点から各情報メディアの良さや気をつける点について考えていました。考え方の1つの例として紹介します。

各情報メディアを比較して(まとめた例)

比較の観点 情報メディア	速報性	詳細さ	信頼性
本	★☆☆☆☆ 出版までに時間がかかる。	★★★★★ 詳細なものが多い。	★★★★★ 情報源や著者名が明記されている。
雑誌	★★☆☆☆ 週刊誌の場合でも、発行頻度は週一回。	★★★★☆ 特集のテーマに特化した内容が多い。	★★★☆☆ 根拠に乏しい記事もある。
新聞	★★★★☆ 次の日には紙面が提供される。	★★★★☆ 比較的詳細なものが多い。	★★★★★ 情報源や著者名が明記されている。
テレビ	★★★★★ 現場からリアルタイムで報道できる。	★★☆☆☆ 番組の時間内でしか報道できない。	★★★★☆ 現場の状況や声をそのまま伝えられる。
ネットニュース	★★★★★ 情報の発信と提供が同時になされる。	★★★☆☆ 詳細で分量の多い記事もある。	★★★☆☆ 情報源や著者名がない記事もある。
SNS	★★★★★ 情報の発信と提供が同時になされる。	★☆☆☆☆ 情報量が少ないものが多い。	★☆☆☆☆ 匿名で発信されているものも多い。



中学2年生の段階で情報メディアの特徴について考えています。大人が中学生の頃にはなかった学習内容です。各メディアの利点や不足している点を自覚し、それぞれの良さを選択し、活用できる力をもつことが求められています。もしかしたら、それは大人にも必要なことのように思われます。

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338